

笑顔の花が咲く

あなたの輝きで



受賞者紹介

「キラリふくしま介護賞」は、他の介護職員や介護職を目指す学生等の目標や憧れとなる働き方を実践している介護職員及び介護職員の労働環境・処遇改善等について優れた取組を行っている介護施設等を表彰する制度です。

主催 福島県

第4回キラリふくしま介護賞 受賞者一覧

介護職員表彰

ページ	名 前	施設名（市町村）
06	會 田 洋 子	介護老人保健施設 啓寿園（郡山市）
07	浅 野 恵	介護老人保健施設 ホリスティカかまた（福島市）
08	伊 東 永 遠	地域密着型特別養護老人ホーム うねめの里はるひめ（郡山市）
09	猪 俣 翔 平	特別養護老人ホーム ほほえみ（喜多方市）
10	江 藤 里 美	特別養護老人ホーム うねめの里（郡山市）
11	遠 藤 吉 紀	特別養護老人ホーム 川俣ホーム（川俣町）
12	音 羽 泰 子	地域密着型特別養護老人ホーム ひなた（いわき市）
13	上遠野 亘	介護老人保健施設 ガーデニア（いわき市）
14	菅 野 真 代	特別養護老人ホーム 国見の里（国見町）
15	喜 古 美 香	リブレ松川24時間訪問介護看護事業所（福島市）
16	栗 城 久美子	介護付有料老人ホーム 多生苑西栄町（会津若松市）
17	甲 川 宏 実	地域密着型サービス事業所 ハーモニー磐梯（磐梯町）
18	近 内 麻 里	つくしデイサービス（須賀川市）
19	佐久間 友 里	デイサービスセンター 国見の里（国見町）
20	櫻 井 有里子	地域密着型グループホーム 国見の丘（国見町）
21	佐 藤 美 香	デイサービスセンター 信夫の里（福島市）
22	高 橋 理 沙	特別養護老人ホーム 光の森の丘（郡山市）
23	時 杉 唯	特別養護老人ホーム 福寿園（南相馬市）
24	富 山 優 妃	養護老人ホーム 希望ヶ丘ホーム（郡山市）
25	長 澤 隼 人	リブレ松川看護小規模多機能型居宅介護事業所（福島市）
26	新 田 莉 絵	特別養護老人ホーム ショートステイ 国見の里（国見町）
27	羽 田 眞 夢	特別養護老人ホーム 孝の郷（伊達市）
28	原 祐 樹	特別養護老人ホーム 会津みどりホーム（会津若松市）
29	松 本 智 子	介護老人保健施設 三春南東北リハビリテーション・ケアセンター（三春町）
30	八 島 美 穂	地域密着型特別養護老人ホーム 国見の杜（国見町）
31	山 崎 良 博	大和ヘルパーステーション（福島市）
32	若 狭 尚 美	特別養護老人ホーム 梅の香（南相馬市）
33	若 林 孝 善	特別養護老人ホーム カーサ・コリーナ（本宮市）
34	渡 邊 知恵美	特別養護老人ホーム ロング・ライフ（福島市）
35	渡 邊 日菜子	ライフ吉井田看護小規模多機能型居宅介護事業所（福島市）

（五十音順・敬称略）

介護施設表彰

ページ	施設名（市町村）
38	医療法人五光会住宅型有料老人ホーム あっとほーむ舟場（福島市）
40	社会福祉法人心愛会特別養護老人ホーム ハーモニーハウス（会津美里町）
42	社会福祉法人南東北福祉事業団 南東北グランプラス八山田（郡山市）



介護職員表彰 概要

他の介護職員や介護職を目指す学生等の目標や憧れとなる
働き方を実践している介護職員の方を表彰します。

対 象

- ①福島県内に所在する老人福祉法（昭和38年法律第133号）第五条の二、第五条の三、第二十九条並びに介護保険法（平成9年法律第123号）第八条に定義された施設及び事業所（以下「施設等」という）に勤務しており、介護職としての従事年数が推薦基準日（当該年度4月1日）で5年以上10年未満の方、かつ、推薦基準日に介護職員として勤務している方（管理者の立場にある方を除きます）。
- ②介護福祉士の資格を有する方又は介護職員実務者研修若しくは介護職員初任者研修を修了した方（同等の研修を修了した方も含みます）。
- ③次の全てに該当する方
 - ア ご利用者やそのご家族に対する対応が優れている方。
 - イ 新人職員や後輩職員への指導及び助言に積極的に携わっている方。
 - ウ 職員同士のチームワーク向上に貢献している方。
 - エ 介護の仕事に積極的に取り組んでいる方。



介護職員表彰

受賞者30名を紹介いたします

※写真は各施設より提供されたものを掲載しております。
撮影時のみマスクを外しております。



介護老人保健施設 啓寿園（郡山市）

介護職員

会 田 洋 子 さん
あい た よう こ



ココがキラリ！

利用者様の思いを汲み
取った言葉かけや対応も素晴
らしいのですが、ご家族様へ利
用者様の情報を的確にお伝えし、
ご家族様の気持ちに寄り添い、安
心に繋がる対応を心がけている
ところが素晴らしいです。
（上司の方より）

情報の共有と出来る事への アプローチ

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様との関わりの中で大
切にしていることは、「情報の
共有」「できることへのアプロ
ーチ」です。

表情・声のトーン・一つ一つ
の動作など利用者様に合った声
掛けをし、利用者様の思いを察
してできること又はできそうな
ことは、励ましながらやってい
ただいています。職員間で声か
けをしながらその情報を共有す
ることで、利用者様が安心して
日々穏かに過ごしていただけるよ
うに心掛けています。またご家
族様との面会時などで利用者様
の様子を伝えたり、ご家族様か
らの要望をお聞きし、ご家族様
にも安心・信頼していただける
よう努めています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

利用者様の状態に変化があつ
た時は、介護職員の他、多職種
（様々な専門職の方々）に報
告・連絡・相談し、チームとし
て対応しています。多職種から
も次々とアイデアが出てくる
ので、それを共有しタイムリー
に仕事ができるように努めてい
ます。

若手職員へメッセージ

啓寿園は介護老人保健施設の
良さが、良く分かる施設になつ
ています。

介護職員が利用者様の状態の
変化に気付き、看護師に報告、
内容によっては理学療法士・作
業療法士に直接相談し看護師に
報告します。食事・嚥下の面
では栄養士や言語聴覚士へ相談し

ます。ご家族様への相談など
は相談員等、他職種の連携の大
切さを実感し、日々勉強になる
ことばかりです。

不安なこと・話づらいこと
もあると思いますが、ひとり
ではなく必ず傍に誰かが一緒
に働いていきますので、なん
なりと聞いてください。職種
に関係なく聞けばみんな的確
に答えられます。現場では一
人ではなく一緒に考え・学
びながらお仕事しましょう。





自分から笑顔で挨拶 常に利用者様の気持ちに寄り添う

介護老人保健施設 ホリスティカかまた（福島市）
介護職員
浅野の
恵さん



ココがキラリ！

恵さんは雰囲気も優しさで溢れ、常に利用者様に寄り添ったケアを行っています。職員同士のチームワークを大切にして、利用者様・他職員から信頼されています。

（上司の方より）

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

施設を利用される利用者様の中には、環境が変わり不安な気持ちで過ごしている方もいらっしゃると思います。少しでも不安な気持ちを和らげられるよう、笑顔で明るく接し、利用者様の訴えや困りごとを傾聴し、なるべく早く対応するよう心がけています。職員は環境の一部であるということをお忘れずに、利用者様が安心して利用できるよう努めていきたいと思っています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員同士のチームワークを図る上で大切にしていることは、4つあります。
①進んで明るく挨拶をする。
②報告・連絡・相談を意識し情

報共有を行う。
③分からないことをそのままにしない。
④責任を持って、仕事をする。

これらを意識しながら業務にあたり、チームワークの向上を図り利用者様やご家族様から信頼を得られるようにしていきたいと思っています。

若手職員へメッセージ

福祉の仕事は、誰にでもできる仕事ではないと思っています。普段の業務をこなしながら、利用者様の気持ちに寄り添い、一人ひとりに合わせた対応を行い、体の状態に合わせた介護技術を習得し、他職種との連携を図るための情報共有を行うなど多岐にわたります。

私もまだまだ学びの途中ですが、利用者様や職場の上司、同

僚から沢山のことを学び、自分を成長させることができる素晴らしい仕事だと思います。





地域密着型特別養護老人ホーム
うねめの里はるひめ（郡山市）

サブリーダー

伊東 永遠さん
いとう とわ

感謝の気持ちで

入居者様の気持ちに寄り添う

入居者様と関わるうえで
大切にしていること

入居者様お一人おひとりに対して、その方に合わせた声かけや介助方法の実践を心がけています。そして、ごなたにも苦手意識を持たずに心をこめて接するようにしています。時間を見つながら、中庭の花を楽しんでいただけるよう散歩にお誘いしたり、レクリエーションで楽しんでいただけるように工夫しています。

これからも、一つ一つのことに、「ありがとうございます」と感謝の気持ちで、常に入居者様の気持ちに寄り添った対応を心がけてまいります。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

介護の仕事をする上で、私は日頃から「礼儀正しさ」「謙虚



ココがキラリ！

新人、後輩のフォローはもちろん、いつでも相談に乗る、頼りになる先輩として行動してくれています。仲間の気持ちを汲み取り、さりげなくフォローする姿勢は、ユニット全体の雰囲気明るくし、入居者様の笑顔を引き出す原動力となっています。（上司の方より）

ひめで暮らせて良かった」と思っていたけるよう、一緒に向上心を持って介護の仕事を頑張っていきましょう。

若手職員へメッセージ

入浴ケアチームでは、入居者様の入浴がより楽しい時間となるように「ゆず湯」などを企画したり、安全配慮の観点も大切に姿勢保持の工夫について様々な専門職の方々と意見を出し合うなど、チームワークを大切にしています。

今までにも何度か悩み、壁に当たることがありましたが、周りの職員（上司や同僚、後輩）の助けがあったおかげで続けることができています。私も仲間の支えになれるように日々努力をしています。

入居者様に「うねめの里はる





本人の想いに寄り添った 信頼関係の構築

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様の目線に立ち、その人の気持ちになつて関わることを大切にしています。単に介助をするのではなく、専門職として個別的な介護を心掛けています。会話の際もペースを合わせ、共感・傾聴することで、施設理念にもある本人の想いに寄り添った信頼関係の構築を進めることに努めています。これからも利用者様の生活を第一に考えたケアの提供に励みます。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員一人ひとりのモチベーションが低下することなく、やりがいや目標を持ち働けるよう日頃からコミュニケーションを図り、相談しやすい環境づくり

特別養護老人ホーム ほほえみ（喜多方市）

ユニットリーダー
猪俣 翔平 さん



ココがキラリ！

利用者様、職員問わず
親しみと信頼を得ており、頼
もしい存在です。常に相手の立
場に立ち、配慮をし、優しく丁寧
に対応する姿は、安心感を与えて
くれます。今後も「キラリ」と輝く
職員として介護業界を率先す
る存在です。
（同僚の方より）

の為、皆さんも自分なりの楽し
みやりがい、目標を見つけ一
緒に頑張っていきましょう！

若手職員へメッセージ

介護の仕事は辛いことや、しんどいことも多いです。しかし、それ以上にとってもやりがいや楽しさ、感動に溢れている仕事です。毎日、色々な発見があり、利用者様に教わる事ばかりです。この仕事は、利用者様の状況に合わせて、臨機応変な対応が必要で不安なこともあるかと思いますが、誰かから感謝され、頼りにされることにとてもやりがいを感じられるはずです。利用者様の自分らしい生活





入居者様の笑顔のために まず自分が笑顔で接する

入居者様と関わるうえで
大切にしていること

日頃から心がけていることは「笑顔」と「安心してもらえる職員になること」です。入居者様の笑顔を引き出すためには、まず自分が笑っていないといけないと思います。色々な事情で家族様と離れることになった方にとって、慣れない場所での生活は心配と不安がいっぱいだと思いますので、支援を通して「安心を提供する」ことを心がけています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

サブリーダーとして後輩職員に対し、入居者様との関り方やケア方法について助言し、後輩職員で対応が難しければ積極的にフォローを行い、実践しながら指導するようにしています。

特別養護老人ホームうねめの里（郡山市）

サブリーダー

江藤 里美 さん



ココがキラリ！

入居者様一人ひとりの思いをしっかりと傾聴し、寄り添っています。言葉かけも丁寧で入居者様の笑顔を引き出しています。サブリーダーとしてリーダーと一般職員との橋渡的存在で、ユニット内のチームワークの要としてなくてはならない存在となっています。（上司の方より）

にやりがいを感ずるので、職員一人ひとりの意見を大切に「できるか分からないけどやってみよう」という気持ちを大切に、一緒に頑張っていきたいと思います。

若手職員へメッセージ

入居者様や家族様から「ここで生活できて良かった」「楽しそうに生活しているみたいで安心した」と思っていただけのように様々な専門職の方々と一緒に、意見を出し合って支援方法を考えることを大切にしています。

「介護Ⅱ大変」というイメージを持って介護の世界に入りましたが、笑顔や喜ぶ顔を見た時





特別養護老人ホーム川俣ホーム（川俣町）

介護士

遠藤 吉紀 さん
えん どう よし のり さん



ココがキラリ！

いつも明るく元気で
同僚や利用者様からも慕わ
れています。また、他の職員が見
過ごしてしまうような利用者様の
状態変化にもいち早く気づき、報
告・対応をしているところは同
僚、後輩職員のお手本となっ
ています。
（上司の方より）

挨拶や会話などから その日の状態把握に努める

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様と関わるうえで、コミュニケーションを大切にしています。挨拶や会話などを通して必ず声をかけるようにしています。表情や声、顔色から心情を察し、その日の状態把握に努めています。日頃からコミュニケーションを取り、遠慮せずに何でも話していただけるような関係を日々築くことが、些細な変化に気が付くことに結びついていると思います。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

誰でも意見を出し合えるような環境になるよう、自分から声をかけ、話しやすい雰囲気づくりを心がけています。職

員間でしっかりと情報の共有を行い、うまくいかないような時はチーム間で意見を出し合い、良い方法を検討して迅速に対応することで、利用者様により安心して過ごして頂けるようになると思っています。

若手職員へメッセージ

わからないことは、その都度先輩職員に聞いてください。わからないことは恥ずかしいことではなく、先輩職員にとっても「気づき」のきっかけとなり、お互いに成長できるチャンスになることもあります。話しやすい先輩や苦手な先輩など様々な方がいると思います。苦手に思っていた先輩でも話してみると案外会話が弾んだり、意気投合し





家族の様に寄り添い 温かい心と満面の笑顔で接する

副主任
おと 音羽 泰子 さん

地域密着型特別養護老人ホーム ひなた（いわき市）



ココがキラリ！

利用者様に寄り添い「よりよいケア」を提案するために常に考えてれています。持ち前の優しさと明るさで、音羽さんの周りにはいつも笑顔が溢れています。これからも頼りにしていますよ！

（同僚の方より）

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

私の祖母は103歳で亡くなるまで自宅で過ごしていました。元気な頃から詩吟や俳句を嗜み、寝たきりになってからも読書や日記をつけるなど亡くなる直前までそれを続けていました。そんな祖母が私は大好きでしたし、今でも尊敬しています。利用者様に対しても同じように、尊敬の念を持ち、家族のように寄り添い、温かい心と満面の笑顔で、ここが自分の家と思って頂けるようなケアを心がけています。皆さまが私の家族、そんな気持ちを大切に日々関わらせて頂いています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

スタッフ同士が認め合い、意見交換ができるよう話しやすい

雰囲気を作っていくと日頃から考えています。人間は皆一人ひとりに個性があり、考え方も捉え方も違います。それをまとめ、向上させていくことは至難の業です。もちろん私自身もまだまだ未熟者であり、学ばなければいけないことが山ほどあります。このような気持ちを忘れずに、時には取留めのない話で笑い合ったり、悩みを相談し合ったり、仕事以外の繋がりも大切にしています。

若手職員へメッセージ

介護は奥深く難しい仕事です。正解はなく、納得いくケアを行うことはとても難しいです。（私はまだできたことがあります。）日々試行錯誤し、悩むこともあることでしょう。でも吸収し学ぶことは多いはずですよ。是非楽しんでください。



して私が常日頃自分にも言い聞かせていることは、「頑張らないで頑張る！」です。自分を大切にしないといふケアはできません。私たちが不安な表情を見せることによって、利用者様はもっと不安になります。ですから自分も大切にしておいて下さい。応援しています。



介護老人保健施設 ガーデニア（いわき市）
介護リーダー
かとうの
上遠野
わたる
亘 さん



ココがキラリ！

上遠野さんは、私がこうなりたいと目標にしている人です。スタッフの些細な声も相手の立場に立ち、必ず解決策を見つけてくれます。他職種との信頼関係も強く、そのお陰で介護職も前向きに意見を交わせるようになりました。（同僚の方より）

全ての人を笑顔にする為に
笑顔を絶やさず誠意を持って接する

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

介護は人と人とのコミュニケーションで成り立っているため、法人の基本理念である「Your smile reaches all」全ての人を笑顔にする為に心を信条に利用者様一人ひとりこまめにコミュニケーションを図ることで、信頼関係の構築に努力しています。また、利用者様が安心してご利用いただけるように、笑顔を絶やさず誠意を持って接し、柔軟な対応ができるように心がけています。

いくため、会議を開いて問題点を洗い出したり情報共有をして連携がスムーズに図れるようにしています。チームで意見を共有し共感していけるように問題解決に向けての話し合いは常に行っています。

若手職員へメッセージ

介護は一人で完結できる仕事ではなく、様々な職種との連携があってチームとして成り立っています。チームでケアをして

現在、介護人材が不足しており、今後さらに人材の減少が予想されている中で、若手の皆様の頑張りが今後の介護業界の支えになってきます。大変なことも多いかと思いますが、経験を積むことにより新しい視野が広がり、問題解決や新たな取り組みに繋がっていくと思います。私自身、介護の様々な資格取得に向けてチャレンジしているところです。皆様も色々なことに興味を持ち、



チャレンジすることで視野が広がり、幅広い対応ができると思いますので、お互いに頑張っていきましょう。



安心して穏やかに
生活してもらえよう努める

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

私が利用者様と関わるうえで大切にしていることは、安全に安心して日々過ごしていただくことです。笑顔で明るく声がけすることで、不安な気持ちが少しでも取り除かれ、安心して穏やかに生活してもらえよう努めています。また、常に周囲の状況を把握し、細やかな配慮や心配りを忘れずに、事故につながることなく安全に過ごしていただきたいと思います。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員同士でこまめに「報告・連絡・相談」をするように心がけています。申し送りや連絡ノートを活用し、情報や技術を共有することで、どの職員が

特別養護老人ホーム 国見の里（国見町）
介護職員
菅野 真代 さん



ココがキラリ！

10年介護を続け成長できた姿が、今回の受賞であると思います。ここまで努力されたことを法人として誇りに思っています。これからも利用者様のため、楽しく介護を続けて下さい。おめでとうございます。（上司の方より）

でき、自分自身も成長できる素晴らしい仕事だと思っています。一緒に頑張りましょう。

若手職員へメッセージ

行っても同じく適切な介護ができるように努めています。日頃から意見や悩みを相談しやすい雰囲気をつくり、コミュニケーションをしっかりとり、信頼できる関係を築くことがチームワークの向上につながると思います。

介護の仕事は、正直大変なことでもあります。でもそれ以上に、感謝の言葉を頂き、利用者様の笑顔に元気をもらい、とてもやりがいのある仕事だと感じています。最初は、介護の仕事をしたことのない私にできるか不安な気持ちでいっぱいでしたが、先輩職員に知識や技術を一つから教えていただき、ここまで続けることができました。介護職は、誰かの役に立てると実感





私は情報の共有を大切にしています。チームでの実践につなげています。普段から利用者様への接し方など気になったことは、進んでみんなから意見を聞くよ

職員同士のチームワーク 向上に心がけていること

利用者様の目線に合わせ笑顔で接し、これからも自宅で生活が送れるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごしてもらえようような支援を心がけています。また、普段から利用者様とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築いています。特に何気ない会話から利用者様の变化に気づき、個々の思いを大切にした支援を行うようにしています。

人と携わる仕事は大変で、時間に追われることも多いかと思えます。しかし、利用者様の「ありがと」などの感謝の言葉や何気ない会話から笑顔が見られた時は、とてもやりがいを感じる事ができ、私も元気をもらうことができます。

若手職員へメッセージ

うにしています。また、普段の何気ない会話でコミュニケーションを取るように心がけています。互いに理解を深めることでチーム内での情報が集まりやすくなり、より良いケアに繋がると感じています。

一人ひとりの気持ちに寄り添い
個々の思いを大切にした支援を

リーダー
喜古美香さん

リブレ松川 24時間訪問介護看護事業所（福島市）



ココがキラリ！

事業所のリーダーとして、他の職員から相談されたことに対してしっかりと傾聴し、一緒に考えることを大切に取り組んでおります。利用者様からの信頼も厚いです。

（上司の方より）

しています。
色々大変だと思いますが、心に余裕を持って、笑顔でケアにあたってください。





利用者様の気持ちに寄り添い 支援していきたい

介護付有料老人ホーム 多生苑西栄町（会津若松市）
介護職員
栗城 久美子 さん



ココがキラリ！

無資格で就職し、施設内の勉強会にも積極的に参加し、努力の甲斐があり見事介護福祉士の資格をとりました。言葉遣いや挨拶も丁寧で、笑顔が絶えず、穏やかな性格だということが伝わり、周りも自然と笑顔になっています。（上司の方より）

利用者様と関わるうえで 大切にしていること

利用者様の気持ちに寄り添うことを第一に、自分の親だったらこうしてあげたい、ご家族様だったらこうしてほしいかもと考えることを心がけています。自分にできることは僅かなことかもしれませんが、今後利用者様に寄り添い、支援していきたいと思っています。コミュニケーションを多く取ることで、利用者様からの信頼も得られ、僅かな変化にも気づくことができます。

若手職員へメッセージ

く知らない所で働くことに不安がありましたので、先輩が悩んでいるときは何か力になれることがあるのではないかと思います。職員間で積極的にコミュニケーションを取ること、良好な関係を保ち、頼りにされるような存在になれるよう努力していきたいと思っています。

職員同士のチームワーク 向上に心がけていること

自分の経験を活かし、後輩職員が困っている様子を見れば声をかけるようにしています。介護業界へ無資格で飛び込み、全

フレッシュ感を活かして、優しく元気で明るく！利用者様と接していただきたいです。忙しく、業務に追われ笑顔も忘れがちになってしまう時もありますが、利用者様の気持ちを大切に、利用者様の立場に立つことを忘れず接してください。

そして、経験豊富な先輩方から多くのことを学び、今後の仕

事に活かしてほしいと思います。きっと、この仕事をしていた良かったと思う日が来るはずですよ。





「お客様」に安心して 介助を受けてもらいたい

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

私は「お客様」への介助前には、これから何を行うのかを必ず伝えていきます。そうすることで「お客様」に安心して介助を受けてもらえると考えています。「お客様」は日々色々な喜怒哀楽を感じていると思いますが、その時々々の気持ちに丁寧に関わり、「あれがしたい」「ここに行きたい」など意欲を引き出してその人らしく生活できるような関わり方を意識しています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

私心がけていることは、仕事の流れがスムーズになるように先を読んで動くことです。「お客様」が心地良く安全

地域密着型サービス事業所
ハーモニー磐梯（磐梯町）

介護職員

甲川 宏実 さん
こうがわ ひろみ



ココがキラリ！

いつも丁寧に穏やかに、「お客様」（心愛会では事業所をご利用される方を「お客様」と呼びしています。）と関わっている甲川さん。隣に座って同じ目線でお話をしている姿は素敵です。「甲川さんに任せれば大丈夫」と全職員が安心できる存在です。
（上司の方より）

職員の皆さんともお互いに支え合いながら、「お客様」と笑い合っていきたいと思っています。

若手職員へメッセージ

私は2022年9月に出産し翌年4月に職場復帰しました。長く働き続ける中で出産のようなライフイベントがあっても、周りの理解とサポートのおかげで仕事を辞めずに続けることができました。これまで受けたサポートに感謝するとともに、自分も恩返しができるようにと考えています。若手





つくしデイサービス（須賀川市）

介護職員

近こん内ない麻ま里りさん

その人の個性を尊重しながら
喜びや悲しみに寄り添う



ココがキラリ！

相手の気持ちになって
考えること、利用者様の気持
ちを汲み取ることが得意な近内
さん。常に利用者様の為に喜んで
もらえることを考え行動している
ことが素晴らしいです。利用者様
からも職員からも頼りになる
存在です。
（上司の方より）

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

常に利用者様の立場に立ち、
その人の個性を尊重しながら、
自分なりに利用者様が「どう感
じるのか？どうしてほしいの
か？何をしたいのか？」を感じ
取り、言葉を考え行動し、喜び
や悲しみに寄り添うことで相手
が安心できるよう心がけていま
す。一緒に過ごす時間を大切に
し、利用者様からの「元気がも
らえたよ」との一言が笑顔にな
り、また明日への励みになって
います。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員一人ひとりの個性も尊重
しそれぞれの考えや意見を聴き
入れ、否定せず言葉だけではな
い非言語コミュニケーションも
大切にしています。ケアをする

ことは一人では難しく、チーム
の協力があつて出来ることであ
り、情報を共有し、常に利用者
様が充実した日々を送れること
を優先しながら、職員一人ひと
りも楽しく仕事が出来る職場環
境づくりを行い、共に考えなが
らチームワーク向上を心がけて
います。

若手職員へメッセージ

私もゼロから始めた介護の仕
事でしたが、失敗や挫折もあつ
た中で支えてくれたのは職員は
もとより、何よりも利用者様、
そのご家族様からの私を必要と
して下さる温かい感謝の言葉だ
と思います。介護を通し、人と
人との関りを持つことで、色々
なことに気づくことができるの
が介護の仕事だと思えます。
介護職だからこそ得られる人
としての成長とやりがいがあり



ます。利用者様と共に笑い合い
日々を過ごしていきたいましょ
う！私達と共に、そして若い未来の
皆さんと共に！



デイサービスセンター国見の里（国見町）

介護職員

佐久間 友里さん
さくま ゆりさん



ココがキラリ！

友里さんは手先が器用で、アイデアも豊富。レクリエーションを工夫して企画・実行していくので、デイサービスの中はいつも季節感にあふれています。優しく利用者様に接する姿は、頼もしく頼れる存在です。（上司の方より）

コミュニケーションを大切に
安心して任せて頂けるよう努める

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様の会話や表情から多くの「変化や気づき」が得られるようコミュニケーションを大切にしています。声のトーンや目線を合わせるなど、に気を付けながらケアを行っています。また、送迎時にご家族様と会話をすることで少しでも安心して介護を任せて頂けるよう努めています。「今日も楽しかった。」と言って頂けるよう、レクリエーションの工夫や季節を感じて頂けるイベントなど、これからも取り組んでいきたいです。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

「お疲れ様です。ありがとうございます。助かりました。大変でしたね。」など、お互いの

やり取りをスムーズにし、気持ち良く仕事ができるよう労いの言葉と感謝の気持ちを大切にしています。多忙な時こそ、情報共有しながら安全に業務を進めることができるよう声掛けを行っています。また、お互いの意見や考えの違いを認め、たうえで、チームとしての協調性と柔軟な対応を心がけています。

若手職員へメッセージ

相手を否定せず話を聴く姿勢、相手を尊重すること、そして職員同士のコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことが重要です。分からないことや困ったことがあれば、自ら発信し積極的に聞いて、実践してみることが大切だと思います。介護は人の命に関わる仕事で責任もあり精神的にきついこともあります。体力も必要とし、決し

て楽な仕事ではありません。介護の世界には、若い人の力が必ずやります。頑張りすぎず、自分の体や心のケアを行い、仕事もプライベートも大切にしてください。





利用者様と同じ目線に立ち 笑顔で関わる

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様と関わるうえで大切にしていることは、利用者様の生まれ、生活歴、家族構成を知り、それを踏まえた上で利用者様と関わりを持ちながら、何を必要とされているのか、どんな支援を行う必要があるのかを考えたうえで接することです。また、利用者様と同じ目線に立ち、ジェスチャー等を交えながら笑顔で関わっていくことで、利用者様が安心して生活して頂けるよう心掛けています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

利用者様の食事量や体調面といった日々の変化に目を向け、職員同士が情報共有を行えるよう心がけています。自分ばかり情報が分かっている、他の職

地域密着型グループホーム 国見の丘（国見町）
介護職員
桜井 有里子 さん



ココがキラリ！

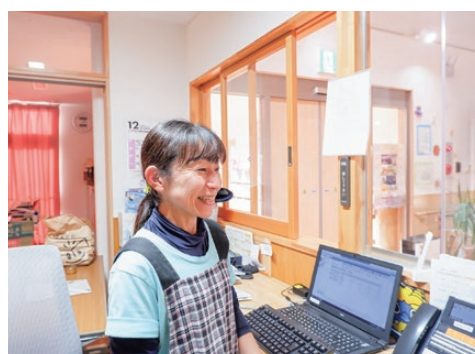
桜井さんはいつも元気で利用者様から信頼されています。責任感も強く何事に対しても親身に指導・助言をし、後輩の職員の育成にも積極的に取り組んでいます。ご家族様、多職種にとっても、頼れる存在です。
（上司の方より）

若手職員へメッセージ

員との情報共有が出来ていなければ、利用者様へのより良い支援が出来ないからです。また、職員同士での意見交換を行い、さまざまな専門職の方々に意見を繋げられるよう心がけています。

利用者様やさまざまな専門職の方々とは大きな関わりを持つ仕事ですが、まずは、利用者様に関するより多くの情報を取り入れ、どれだけ利用者様に寄り添う支援をしていけるかが大切だと思っています。支援していく上で、不安・疑問・悩み等、多くの困難が出てくると思います。一人で抱え込まず、また一人で行おうとせず上司や先輩の力を借りていくことも大切だと思っています。力を借りることで知識が身に付き自信になり、や

り甲斐に繋がっていくと思います。利用者様が安心して生活して頂けるよう、寄り添い、思いやりの気持ちを持って支援出来るように、頑張っていきたいと思います。





いつも笑顔で利用者様と 共に楽しむ

デイサービスセンター 信夫の里（福島市）
介護職員

佐藤 美香さん



ココがキラリ！

美香さんのキラリ！は「笑顔」です。利用者様と話をする時はいつも笑顔で、利用者様の事も笑顔にしてくれています。そんな美香さんなので、利用者様からは、人気があり、とても可愛がられています。
(上司の方より)

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

いつも元気良く笑顔でいる事です。利用者様との何気ない会話や一緒に行う日常動作やリハビリ、レクリエーションなど共に学び、共に楽しむ事です。また自分がされて嫌な事は絶対にしない。利用者様が何を求めて、何を話したいのか、すぐに気づいて寄り添ってあげたいです。自宅以外のこの場所を利用者様の居心地の良い楽しい場所だと思ってもらえたら嬉しいです。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

介護職員同士がしっかりと利用者様の情報を共有して偏りがなく一人ひとりに合ったサービスを提供したいです。申し送りの際は業務の基本である「報告・連絡・相談」を忘れないよ

うに心がけています。利用者様に質の良いサービスを提供したいので職員同士のコミュニケーションを多くとり、相手の立場や意見を尊重し思いやりをもって楽しく仕事を行いたいです。職員も利用者様も気持ち良く笑顔でいられるような環境を日々、心がけています。

若手職員へメッセージ

「介護は大変」「辛い」などのイメージがあると思います。人と関わりを持つて仕事をするのは本当に大変だと思います。しかし、利用者様から「ありがとう」と感謝の言葉をいただくとは本当にやりがいのある仕事だと実感します。職員同士のチームワーク、利用者様への適切な対応など「成功・失敗」は日常茶飯事です。介護は職員同士のチームワーク、連携がとても大





特別養護老人ホーム 光の森の丘（郡山市）

介護職員

高橋 理沙さん
たかはし りさ



ココがキラリ！

高橋さんは、いつも丁寧な言葉遣いと優しい声かけをしており、利用者様と真摯に向き合っています。また、安心して生活が送れるよう、利用者様にとって一番良いケアの仕方を職員と連携を図りながら日々考え、ケアを行っています。（上司の方より）

その人らしさを大切にした
個別ケアを心掛ける

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様を思いやる心を持ち、常に相手の立場に立つて考えるよう心がけ日々ケアしています。当施設の理念でもある「その人らしい生き方」を念頭に置いて、利用者様一人ひとりの生活歴を知り、生活の中でまだ出来ることや引き出せることがないかを考えています。また、ありのままを受け止め支え、「その人らしさ」を大切にしたい個別ケアが行えるよう、チームワークを心掛けています。

若手職員へメッセージ

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

コミュニケーションを多く図るようになっています。価値観や考え方は十人十色と違うため、自分とは異なる考えや意見はありますが、相手の話をしっかりと最後まで聞き、否定せず受け止めることを意識するようにしています。また、チームで利用者様を支えるために、ケアの統一が図れるようチーム内での情報共有を大切にしています。



できる環境で仕事ができ、毎日楽しく笑顔で介護の仕事を出ることに幸せを感じています。



私がチームワーク向上の為に心がけていることは、利用者様だけではなく職員同士のコミュニケーションを図ることです。職員同士の関係性が悪いと上手

職員同士のチームワーク 向上に心がけていること

私は利用者様が楽しく過ごせるように日頃からの関わりを大切にしています。コロナ禍でマスク着用が継続されている中、利用者様は職員の表情を読み取ることが難しい為、声のトーンや強弱を意識しながら、コミュニケーションを積極的に図ることを心がけています。これからも笑顔をやさず、利用者様の要望に少しでも多く応えられるように支援していきたいです。

介護の仕事は、大変なイメージがありますが、やりがいのある仕事です。慌ただしい毎日ですが、利用者様からの「ありがと」の言葉や笑顔を見るとそれを励みに頑張ろうと思うことができます。介護は一人ではなくチームケアが大切です。職員同士が支え合い、利用者様の声や表情から想いを汲み取ることが大切です。利用者様との関わり

若手職員へメッセージ

く連携が図れず、ケアに支障が出てしまう為、日常からこまめに声を掛け合うことを心がけています。また、中堅職員の立場として後輩職員から相談を受けられる機会も多くなったので、私が持っている知識を伝え、チーム全体でより良いケアを提供していきたいです。

笑顔をやさず積極的に コミュニケーションを図る

利用者様と関わるうえで 大切にしていること

時杉
ときすぎ

唯
ゆいさん

特別養護老人ホーム 福寿園（南相馬市）
介護職員



ココがキラリ！

利用者様や職員から慕われ声も掛けやすくてとてもいい雰囲気です。エリリーダーとしても職員の中心となり明るく働きやすい職場作りに尽力しています。
（上司の方より）

りの中で教えてもらうことも多く、日々成長もできるので、チーム全体で助け合いながら私達が出来る最大限の支援を行っています。





養護老人ホーム希望ヶ丘ホーム（郡山市）
支援員兼介護職員兼訪問介護員
富山 優妃 さん
とみ やま ゆう ひ

笑顔で明るく

コミュニケーションを図る

利用者様と関わるうえで大切にしていること

利用者様と関わるうえで大切
にしていることは、笑顔で明る
く、コミュニケーションをたく
さん図ることです。利用者様が
住み慣れた地を離れても自分
らしくいきいきと生活できる
よう、日々支援にあたってい
ます。

また、館内の掃除などご自分
の役割を持って生活されている
方もたくさんいますので「あり
がとう」「助かります」と感謝
の言葉をお伝えすることも心が
けています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員同士のチームワーク向
上において心がけていること
は、なんでも相談し合える雰



ココがキラリ！

明るく活発な性格の富山
さんは、利用者様に話をする
際にいつも笑顔で接し、信頼も厚
く他職員の模範です。とても楽し
そうで和やかな様子から、利用者
様から絶大なる信頼を寄せてい
ただいております。
（上司の方より）

さんもぜひ、やりがいを見つ
けて一緒に頑張ってみませ
んか。

若手職員へメッセージ

困気を作ることです。中堅職
員として、後輩・先輩職員ど
ちらともコミュニケーション
を図りながら些細なことでも
お互いに共有しています。利
用者様から喜ばれるような質
の高いケアを提供できるよ
う、これからも努めていき
たいと思います。

介護の仕事は「大変」だと感
じる方が多いと思います。大
変なことはもちろんたくさん
ありますが、介護の仕事は
チームケアです。周りの職員
と一緒に協力して利用者様一
人ひとりに合わせたケアを行
うことで、「ありがとう」「来
るの待ってたよ」等と声をかけ
ていただくことも増え、働いて
いてよかったと感じます。皆





リブレ松川
看護小規模多機能型居宅介護事業所（福島市）

介護職員

ながさわ
長澤 隼人 さん

話を傾聴することで

思いを尊重し、どう支援するか

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

一番大切にしていることは、話を傾聴することです。利用者様が何を望んでいるのかを把握することが大切だと思っています。本人の思いを尊重したうえで、どう支援するかを考え、利用者様やご家族様が満足するサービスを提供できれば、お互いに笑顔で良い関係が築けると考えています。何気ない日常会話から関係をつくっていくために、テレビや新聞などから情報を得ることも大切な習慣にしています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員同士の些細な変化にも気付けるように、意識して相手のことを知るようになっています。例えば、「髪、切りました



ココがキラリ！

後輩職員への指導では、ただ単に仕事内容などを教えるだけでなく、自分の体験談を交えて、相手の立場に立ちながら接しています。真面目な性格でもあり、上司や同僚からの信頼も厚く、頼りになる存在です。
(上司の方より)

を身に付けていくと良いと思います。何よりも、介護の仕事を楽しむ気持ちを持つことが大切です。

若手職員へメッセージ

か？」と声を掛けたり、何か話を聴きたそうにしている職員に対しては、自ら声を掛けたりするなど、周りの人から頼りにされる人になれるよう心がけています。後輩職員からの相談等に対しては、自分の体験談を踏まえながら、アドバイスしたり、一緒に考えるようにしています。

対人関係の仕事なので、コミュニケーション能力が求められます。人と話すことが苦手でも、少しずつ話す機会を増やし、慣れていくことが必要です。仕事では、先輩職員の話をよく聴き、分らないことは、その都度確認することが大事です。対人援助や介護技術の基礎をしっかりと理解し、自分に合った対応や方法





特別養護老人ホーム
ショートステイ 国見の里（国見町）

介護職員

新田 莉絵 さん

明るく笑顔で挨拶

笑顔で安心して1日を過ごしてほしい

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

信頼関係を築くためにもコミュニケーションを大切にしています。特に朝の挨拶は、明るく笑顔で行うようにしています。利用者様に1日の始まりを気持ちよく迎えてほしい、笑顔で安心して1日を過ごしてほしいと思っています。挨拶した時に普段のちょっとした気持の変化や表情、体調の変化に気がつくこともあるので、顔を合わせてきちんと挨拶するようにしています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

介護の仕事をする上で、ひとりでできることは限られてしまっていますが、利用者様が安全に安心して過ごしていただけるよう

に、職員みんなで協力することが大切だと思っています。周りに感謝する気持ちを忘れずにいること、そしてその気持ちを相手にきちんと伝えることがチームワーク向上に必要なと思います。お互いに声を掛け合い協力していただけるように心掛けています。

若手職員へメッセージ

介護の仕事は大変なことも多いですが、利用者様から「ありがとう」と言われることも多く、たくさんの笑顔を見せてもらえます。何年経っても学ぶことがたくさんありますが、利用者様のために今自分ができる一つ一つを続けていき、やりがいや楽しさを感じてもらえたらと思います。初めは不安なこともあるとは思いますが、人と人と



ココがキラリ！

努力され資格を取得。日々の業務に活用されており、利用者様などからの信頼もあり、介護業務を安心して依頼できる職員です。これからも介護を楽しく続けて下さい。

（上司の方より）

のつながりを大切にしながら、利用者様が笑顔で過ごせるように一緒に働いてみませんか。





自分の大切な家族だったら、
どうして欲しいのか

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様が何をしたいのか、何を訴えたいのかを汲み取り、その方にあったサービスが叶えられるように質の良いサービスを提供できるよう努めています。「自分の大切な家族だったら、どうして欲しいのか」を考え、常に笑顔で声をかけながら、思いやりの気持ちで接するようにしています。利用者様の「ありがとう」を励みに日々精進しています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

私のユニットでは、職員同士のチームワークが発揮できるように、常にリーダーとして、職員間でのコミュニケーションをとるよう、率先して職員に話しかけをするようにしています。

特別養護老人ホーム 孝の郷（伊達市）
ユニットリーダー

羽田 眞夢さん
はねだ まゆみ



ココがキラリ！

利用者様のために日々頑張っている羽田さん、誰にでも常に笑顔で、場を和ませてくれる人です。これからもその笑顔で利用者様、職員に引き続き愛されるよう頑張ってください。
（上司の方より）

支えや先輩方がいたからです。利用者様から頂く感謝の言葉もあり、今日まで介護の仕事が続けることが出来ました。みなさん自信を持って頑張ってください。

若手職員へメッセージ

私は18歳で右も左も分からず、この世界に飛び込み「どうしよう」「私にはできるかな」の不安の毎日でした。私に優しく指導してくれた先輩職員にはとても感謝しています。落ち込むこともありますが、楽しい事も、苦しい時も職員同士で分かち合い、乗り越えることが出来ました。介護の仕事は1人でやる仕事ではありません。チームワークが大切です。私が介護の仕事が続けられたのも、家族の





特別養護老人ホーム
会津みどりホーム（会津若松市）

介護サブリダー

原 はら
祐 ゆう
樹 き
さん

積極的に会話し

深く関わることで信頼関係を築く

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

介護の仕事で一番大切なことは「信頼関係」であると考えています。この信頼関係を築くことは簡単ではありませんが、日々の関わりの中で積極的にお話をしたり、その方の歩んできた人生のお話を聞くなど、その方と深く関わることで心を開いて下さると思っています。「あなたがいてくれて良かった」と思われるような関係性を築くことが私の理想の介護です。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

最も大切に行っていることはコミュニケーションです。業務上のことは勿論のこと、時には業務に直接関係しないお

話をすることも大切なことだと思っています。「相談しやすい・相談されやすい」といった関係性を双方で構築できることで、「悩んでいること」「困っていること」等の解決に繋がり、「働きやすい職場風土」「質の高いサービスの提供」に繋がると考えております。

若手職員へメッセージ

介護の仕事を始めただばかりの頃は、友人に「介護の仕事って大変じゃないの?」と言われたことがありました。確かに、介護は人の人生をサポートするとても責任の重い、難しい仕事です。でも、介護（支援）を必要とする方々はいます。私たちはその方々の手となり足となつて、その方の望む生活の実現に向けて考え、実践することにと



ココがキラリ!

性格がおおらかで、とても明るく、前向き、いつも職場を楽しい雰囲気してくれます。当然、利用者様からの信頼も厚く、原さんが休みの日は「今日は、原さんいないの?」と残念がる声が日常的にあります。
(上司の方より)

でもやりがいを感じています。どうぞ、皆さんも一緒に福祉業界を盛り上げていきましょう!!





自分から笑顔で挨拶 常に利用者様の気持ちに寄り添う

介護老人保健施設 三春南東北
リハビリテーション・ケアセンター（三春町）
介護職員

まつもと ともこ
松本 智子 さん



ココがキラリ！

松本さんは利用者様への
接遇に優れ、職員からの信頼
も厚い素晴らしい介護福祉士で
す。松本さんの持ち前の明るさは
一緒にいる人達を笑顔にし、そし
て和やかな空気を「キラキラ」と
降り注ぐ力があります。
（上司の方より）

利用者様と関わるうえで 大切にしていること

毎日の挨拶は、自分から笑顔で行う事を心掛けています。笑顔には「親しみ」、「安心」、「信頼」を与えるというプラスの働きだけでなく、ストレスを和らげる効果もあると思います。少しでも不安を取り除き、楽しく穏やかな生活が送れるよう、常に利用者様の気持ちに寄り添うことを大切にしています。

職員同士のチームワーク 向上に心がけていること

人と関わる上で常に気をつけていることは、「謙虚さ」を忘れないことです。自分で全てを分かっているつもりにならないように、周囲から教えられたこと、注意されたことに、しっかりと耳を傾け、受け止めることを

大切にしています。

また、嫌なことがあってもマイナスに捉えず、前向きな言葉や気持ちに変換しポジティブに捉えること、感謝の気持ちは素直に伝えることで、円滑に助け合って働くことに繋がっていると思います。

若手職員へメッセージ

様々なスキルが必要になる介護職ですが、優しさ、思いやり、気遣いといった人としてのスキルは、仕事を通じてこそ養われるものだと思います。人の温かみに触れ自然と身についてくるので安心して下さい。

人に優しく接する為には、自分自身の心と体が元気であることも大事です。小さな迷いや疑問、悩みがあればすぐに周囲に相談し、ストレスをためないことです。自分や家族の健康が



あってこそ、この仕事ができる
と思います。
これからも仕事をしていく上
で優先順位を明確にし、長く続
けてほしいです。



常に疑問を持ち 介助や声掛けを行う

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

例えば利用者様が急に立ち上がられた場合、今どのような訴えを起しているのか、そのような訴えを起すきっかけがあったのかなど、常に疑問を持ち介助や声掛けを行うこと。利用者様を否定せず可能な範囲であればご希望に沿うよう支援すること。例えば自分や家族が入所や利用した場合に、職員からされて嫌なことは利用者様へ絶対にしないよう心掛けています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

利用者様と関わる時もそうですが、職員と関わる時も相手の立場になって物事を考えるということを一歩考えています。自分が苦手としていること

地域密着型 特別養護老人ホーム 国見の杜（国見町）
介護職員
八島 美穂 さん



ココがキラリ！

八島さんは、中堅職員として細やかな気配りで、利用者様との関わりを大切にしています。後輩職員の指導を任せられる頼もしい存在になっています。今後もスキルアップを図り、さらなる活躍を期待しています。（上司の方より）

が、それ以上に得られることはもっと多く、大きいので一緒に頑張っていきたいです。

若手職員へメッセージ

介護は、利用者様の人生の一部や最期に立ち会うことのできる仕事であり普通では、なかなか経験できない業務がたくさんあります。自分との価値観の違いや自分の視野の狭さを実感し驚くことも多くありますが、人間として大きく成長させてくれる、とてもやりがいのある仕事だと私は考えます。最初は覚えられないこと、考えること、上手い





大和ヘルパーステーション（福島市）
訪問介護職員

山崎良博さん
やまざき りょうひろ

常にお声がけをし
安心していただけるお手伝い

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様のご自宅を訪問するときはいつも笑顔で元氣よく挨拶するとともに、利用者様の表情や動作などの確認を行っています。そして身体の状態と周囲の安全を確認した上で移乗動作・移動動作を行っています。そのなかで最も大事なことは、常にお声がけをするということです。また、ご家族からの伝言や移動中の状態を看護師に確実に伝えること、利用者様とご家族に安心していただけるお手伝いができるよう心がけて頑張っています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

利用者様の障害の程度はそれぞれ異なるために、職員同士が常に話し合いを行い、「報告・

連絡・相談」を重視し安全な実施に向け取り組んでいます。車椅子の動作訓練や意見交換などのコミュニケーションの確保を常に図っています。

若手職員へメッセージ

利用者様はすでにお子様たちも一人立ちし、これからの人生を楽しく過ごしていこうという時に足腰を痛めるなど、体が不自由になり、辛い思いをしなくてはならず、他人の支えがなくては生活もままならない状態です。私達がお手伝いをさせていただくことで、利用者様の自立心向上にもつながるのではないかと思います。

私は、身体の不自由な方々のお手伝いをさせていただけることを誇りに思い、仕事をしています。若い職員の皆さんには、いつも利用者様に寄り添って、



ココがキラリ！

会社でも、利用者様宅でも、いつも明るく笑顔で対応されています。その笑顔に周りはとても温かい雰囲気包まれます。また、常に感謝することを忘れない人柄です。言葉や身ぶり・手ぶりの表現力も豊かで、周囲からの信頼も厚いです。（上司の方より）

利用者様に安心していただける介護に徹していただきたいと思います。





感謝の気持ちを常に持ち 穏やかな気持ちで接する

特別養護老人ホーム梅の香（南相馬市）
ユニットリーダー
わか 狭 尚 美 さん



ココがキラリ！

キラリふくしま介護賞
受賞おめでとうございます！
常に明るく、目配り・気配りので
きる尚美さんは「梅の香」にとっ
てはもちろん、私にとっても頼りな
るお姉さんのような存在です。い
るだけで周りを明るくしてくれ
る存在にキラリ！です。
（上司の方より）

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

日々、介助をさせていただ
いている中で、研修では学ぶこと
ができない、たくさんの方を
利用者様から教えていただい
ています。その感謝の気持ちを常
に持ち、毎日安心して生活がで
きるお手伝いができるよう、私
自身が穏やかな気持ちで接する
ことを心がけています。毎日、
顔を合わせているからこそ、
小さな変化に気付き、寄り添え
る介護職員でありたいと思
います。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

現在、ユニットリーダーとい
う立場ですが、利用者様が過
しやすいことはもちろん、職員
も仕事しやすい環境となる
ために、自分の意見や「わから

ない」「困っている」と発言し
やすい雰囲気作りが必要だ
と思っています。しかし、発言す
ることが苦手な職員もいると思
います。職員一人ひとりの性格
を把握しながら声を掛け合うこ
とで、チームワークの向上に繋
がるのではないかなと思っています。

若手職員へメッセージ

緊張と楽しみの気持ちで入職
したものの、初めてのことに戸
惑い、失敗することで自信が持
てず、どうしよう、どうしよう
と思う日はありませんか？私が
そうでした。誰でも、怒られた
くない、失敗したくないという
気持ちはあるかもしれません
が、私は困難があればあるほど
自分が成長できるチャンスだ
と思い、積極的に取り組むよう
に心がけています。助けてくれる



先輩も必ずいます。ぜひ、皆さ
んも苦手なことでも避けずに、
よし！やるぞ！という気持ちで
前向きに取り組んでほしいと思
います。



こころの声に耳を澄ませ 利用者様と向き合う

特別養護老人ホームカーサ・コリーナ（本宮市）
介護職員

若林 孝善 さん
わかばやし たかよし



ココがキラリ！

若林孝善さんの「キラリ」と輝いているところといえば
接遇です。利用者様のこころの声に耳を澄ませ、笑顔で丁寧な対応で接するので、利用者様・職員からの信頼は厚く手本となります。
受賞おめでとう。
（上司の方より）

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様に安心感を持って生活していただけるように、常日頃から利用者様のこころの声に耳を澄ませ、利用者様と向き合う姿勢を持つよう心がけております。「私がされたら嬉しいこと」「私がされたら嫌なこと」を考えながら、利用者様が言葉にできない思いを意識して、声掛けや介助を丁寧に行なっています。それが、利用者様の变化にすぐ気付き、より良いケアに繋がることだと思います。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

私がかがけていることは3つあります。1つ目は、新人職員や若手職員が職場に馴染み、他職員と良い関係性を築いていくよう、仕事だけではなくプラ

イベートの話もしています。話しやすい雰囲気を作っていくことで、気兼ねなく相談できるようにしています。2つ目は、独断で仕事を進めるのではなく、他職員に意見を聞いて協力しながら仕事を進めています。3つ目は、他職員の手本となるように、接遇マナーに気を付けています。

若手職員へメッセージ

仕事を始めて間もない頃は、覚えることも多く気持ちに余裕がなくなることがあると思いますが、一人で抱え込まず、話しやすい人に話すことで気持ちが楽になると思います。介護の仕事は大変なこともあると思いますが、それ以上にやりがいや魅力が数え切れない程ある仕事だと思っています。私は、利用者様に頼られることをやりがいとして



います。何事にも挑戦をしてやってみる。やらないと分からないことばかりです。その繰り返しで、「なりたい自分」になっていけると 생각합니다。



安心感を持っていたただけるよう
穏やかな表情や声で接する

特別養護老人ホーム ロング・ライフ（福島市）
介護班長
わた なべ 知恵美 さん



ココがキラリ！

知恵美さんは愛嬌があり、いつも笑顔で利用者様・職員と関わっています。また、真面目な性格で法人の副主任として責任感を強く持ち、業務にあたっています。
（上司の方より）

利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様と関わる時は、なるべく穏やかな表情や声で接することを心がけています。認知症の方は特に、「自分がどうしてここにいるのか」など不安な気持ちを抱えている場合も多いため、少しでも安心感を持っていただけるよう、声のトーンなどにも気を付けています。忙しい時などつい早口になってしまうこともあるため、その都度自分のケアを振り返ることも大切だと思っています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

職員の皆さんの意見や話をよく聞くようにしています。私が働いている特別養護老人ホームは、職員の年齢や性別、職歴も様々ということもあり、自分に

はない気づきや視点をたくさん得ることが出来ます。自分とは違う意見も尊重し、チーム全体でより良いケアを目指すことが大切だと思っています。また、いつも皆さんに助けていただくことばかりなので、周囲への感謝を忘れずにこれからも仕事に取り組んでいきたいです。

若手職員へメッセージ

介護の仕事はとても奥が深く、続けていくほどに見える世界が広がっていきます。身体の不自由な方や、認知症の利用者様との関わりは難しいこともありますが、その方に寄り添いたいという気持ちは伝わりやすく、「ありがとう」という言葉をいただけた時は「やっていて良かったな」と思える瞬間です。介護はその方の人生の最後を支える本心に尊い仕事だな



と、今とても誇りに思っています。大変なことも楽しみながらこれから一緒に介護の仕事を頑張っていけたらと思います。



お一人おひとりに合わせた 介護を心がける

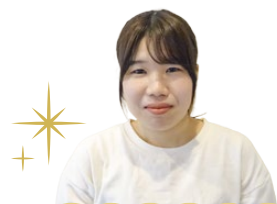
利用者様と関わるうえで
大切にしていること

利用者様全員に同じように接するのではなく、性格や病気を把握した上で、お一人おひとりに合わせた接し方、介護をするように心がけています。また、機能障害などにより自己表現がうまくできない方や不安を抱えて過ごされている方もいらっしゃいます。そのため、日頃利用者様と関わりながら様子を観察すること、職員同士で情報共有を行うことを大切にし、その方に合わせて対応していくことを心がけています。

職員同士のチームワーク
向上に心がけていること

利用者様に対しては統一した介護が求められていますが、様々な介護現場を経験した職員なりの考えもあり、意見の統一

ライフ吉井田
看護小規模多機能型居宅介護事業所（福島市）
介護サブリダー
わたなべ ひなこ
渡邊 日菜子 さん



ココがキラリ！

今年の4月よりサブリダーとして活躍しています。朝夕の送迎時や電話対応では言葉使いが丁寧で対応も良いのでご家族からも信頼されています。彼女がいると事業所内も明るくチームワーク向上に貢献していると思います。（上司の方より）

様々な人生経験をされてきた利用者様から学べることも沢山あります。思いやりの気持ちと笑顔で接することを大切に介護の魅力を見つけてみてはいかがでしょうか。

若手職員へメッセージ

介護現場では利用者様をお預かりしている責任もあり、大変なこと、辛いことが沢山ありますが、介護はそれ以上に楽しさややりがいも沢山ある仕事です。直接「ありがとう」「楽しかったよ」と感謝されることや利用者様の笑顔を見ることができるとは毎日の励みになり、その方と介護を通して関わったことが達成感に繋がります。





介護施設表彰 概要

働きやすい、働きがいのある、働き続けたい職場づくり等、
労働環境及び処遇の改善等について、
優れた取組を行っている介護施設等を表彰します。

対 象

- ①労働環境及び処遇の改善（働きやすい、働きがいのある、働き続けたい職場づくり）等について、優れた取組を行っている福島県内に所在する施設等。
- ②施設等の名称及び取組内容について公表可能な施設等。
 - ア 継続性（一過性のものではなく継続的な取組）
 - イ 独自性（先行事例に工夫を加えた取組）
 - ウ 先進性（介護を取り巻く環境の変化を見据えた取組）
 - エ 展開性（多くの施設等への横展開が期待できる取組）
 - オ 模範性（他の施設等において模範となる取組）
 - カ 一体性・全体性（職員全員に取組の意図や内容が浸透している取組）
 - キ 実績・成果（必要に応じ取組内容の見直しが行われ、働きやすく、働きがいのある職場づくり、職員の入職増及び定着、利用者の満足度の向上につながっている取組）



介護施設表彰

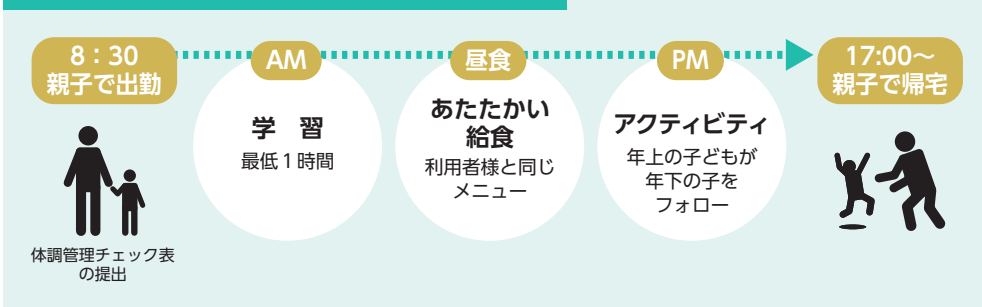
受賞施設3施設を紹介いたします

※写真は各施設より提供されたものを掲載しております。
撮影時のみマスクを外しております。



管理者
佐藤 米美

あっとほーむ舟場 学童保育 1日の流れ



住宅型有料老人ホーム あっとほーむ舟場（福島市） 新型コロナウイルス 感染拡大による休校時に 職場内に学童を開設

取り組みを行ったきっかけ

子どもの預け先がなく
働けない職員のために

私たちの法人では、働く人たちの子育て支援に力を入れ、仕事と育児の両立をサポートしてきました。以前から法人内には託児所があり、正規・非正規を問わず職員が育てる就学前の子どもを受け入れています。子どもが小学校に入学してからも、冬休み・夏休みなどの長期休暇中は、必要に応じて託児所で預かっていたこともあり、小さな子どもと小学生が一緒に過ごすには手狭になっていました。

そんな中、2020年に新型コロナウイルス感染症が拡大し、小中学校の休校が相次ぎました。子どもがまだ小学校低学年の場合、親の仕事に一人で留守番をさせるわけにもいきません。学校併設の学童保育が休みになったり、家で面倒を見てくれる人がいないスタッフは、

施設概要

慢性期医療に積極的に取り組み、在宅医療を支援する医療法人五光会が運営する住宅型有料老人ホーム。入居定員は39人。スタッフの大半が法人内にある訪問介護サービスを兼任している。福島市内に住宅型有料老人ホーム「あっとほーむ笹谷」も開設している。

仕事を休まざるを得ない状況に追い込まれてしまいました。

そこで、小学生のお子さんのいるスタッフに管理者が学童保育の利用を希望するか調査し、希望者が少なくはないことを確認しました。子どもを預かるスペースとしては「あっとほーむ舟場にある会議室スペースを活用できないか」と法人の事務長に相談し、了承をもらいました。

感染対策のためには「体調不良がある場合はお預かりしません」と徹底して伝え、「体調管理チェック表」を子どもたちに渡して確認してもらうことにしました。保護者は介護職や医療職に従事していることもあり感染症拡大防止に関するルールを熟知しています。抗原検査キットを配って、自宅で検査してもらうこともありました。基本的な感染対策の実施で、これまでのところ、学童内で新型コロナウイルスに感染してしまっただけという例は一度もありません。

具体的な取り組みの内容

あいさつや勉強時間など
シンプルなルールを徹底

預かりは、3〜5名からスタートして、感染に留意しながら継続してきました。会議室スペースは、職員用のロッカーにつながる廊下沿いにあるので、子どもたちとは「あいさつは誰にでも自分からする」と約束しています。他に「午前中の1時間は必ず学習の時間にあてる」、「年上の子は年下の子の面倒を見る」というルールを作りました。学習の時間は、各自が学校の宿題をやったり、ドリルを準備したりと様々です。教員免許を持つスタッフに協力してもらうこともありましたが子どもたちはお互いにわからないところを教え合いながら学習しています。

午後は、その日によってイラストを描いたり、レジンでアクセサリーを作ったり、たこ焼きなどのおやつを作ったりしながら過ごします。材料代などは法人が持ち、保護者であるスタッフの負担は、子どもたちの昼食代250円のみです。子どもたちは併設する病院や施設と同じ温かい給食を食べています。

預かり時間は8時半から17時までが基本。仕事が定時で帰れ

るとは限らないので、保護者の仕事が終わるまでは待っていて、一緒に帰ることが出来ます。

令和4年度に学童登録者は、23人いましたが、コロナが「5類感染症」になった令和5年度には16人に減りました。現在はスタッフの勤務に合わせて、長期休みの学童保育を継続しています。福島市笹谷にある「あっとほーむ笹谷」スタッフのお子さんも利用していて、保護者の勤務に合わせて、笹谷から「あっとほーむ舟場」までの送迎もしています。また、同居中のお孫さんを預かることもあります。

得られた成果・効果

働きやすい職場づくりが
サービスの向上に直結

長期休暇中の学童保育を設けることで、これまでは短時間労働しかできなかったスタッフが勤務時間を延長することができたり、一人で子育てをしているシングルマザーの方でも安心して働くことができるようになりました。また、学童での取り組みをSNSで発信することで、「安心して子育てができそうな法人」という印象付けができて求職者の応募のきっかけにもなっています。

今回の新型コロナウイルスによる小中学校の休校など突発的な問題が生じた際に、法人が職員に寄り添った対応をできたことで離職防止にもつながったと思います。私たちの法人は、勤務年数が長い人が比較的多く在籍していますが、短期離職が多くなるとケアの質を確保するのに時間がかかってしまいます。ケアの質を下げずに、介護職がスキルアップできるということは、介護サービス向上に直結していきます。



子ども同士のことなので、学童内で揉め事はつきものです。なにかあった時には、管理者が介入して「けんかする子は、ここにいられないよ」と言い聞かせるので、子どもたちにとっ



職員の声

居宅介護支援事業所ケアマネージャー 植田みちるさん

休校になった時に預け先がなかったので学童開設は本当に助かりました。我が家は一人っ子で、年上の子にお兄さん的な憧れを抱いて勉強面でもいい刺激があったようです。また、職場では今まで話す機会がなかった病棟の看護師さんと子どもの話題でコミュニケーションできて少し仕事がしやすくなりました。

訪問介護ステーションサービス提供責任者 福田香里さん

私は二人の子どもが小学生だった時に、長期休みの学童を利用していました。親が出勤する場所に学童があると、送迎をしなくてもいいので、親は時間に追われることなく助かりました。子どもたちも他の学校の友達と話せるのが楽しかったようで、高校生になってからも何度か学童に遊びに来て懐かしがっています。

訪問介護ステーションサービス提供責任者 玉坂はるかさん

コロナ休校の学童開設以来、長期休みには、「あっとほーむ舟場」の学童を利用しています。笹谷の職場から子どもを送迎してもらえるので、親は安心して働くことができます。学童で「冬休みの友」などの宿題を終わらせてくれるのも助かります。「普段会えない友達に会える」と娘も楽しみにしています。



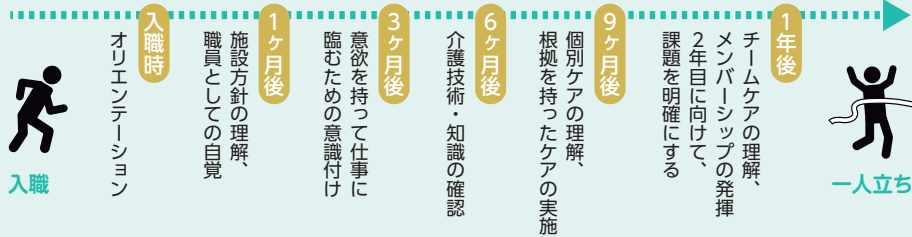
チームリーダー
竹村 祥功

主任
丹野 瞳

施設長
大堀 よし子

1対1のエルダー制度

1年間寄り添い一緒に成長します。



特別養護老人ホーム
ハーモニーハウス（会津美里町）
なんでも相談できる存在の
「エルダー」が、一対一で
新人の教育に関わる

取り組みを行ったきっかけ

「人を育てる」ために
課題や対策に向き合う

急速に高齢化が進む地域で、福祉の人材を確保していくためには「早めになにか手を打たなければ」という危機感が開設当初からありました。しかし以前は時間をかけて教育する体制がなく、介護の資格や経験の有無に関わらず即戦力として働くことを期待してしまう風潮が職場にあり、「仕事についていけない」と退職する人もいました。そこで2008年に施設長・介護職の主任・リーダー・看護師・管理栄養士が課題や対策を話し合った結果、「意識改革をしなければならぬ」という結論に至り、新しい教育システムを取り入れることになりました。

一般的に、看護職では先輩看護師が新人看護師をマンツーマンで教育・指導やフォローする「プリセプター制度」が定着しています。この制度は看護師でもある施設長にとって馴染みが深く、効果を感じていたことから、同様に先輩が新人の指導やメンタルケアを行う「エルダー制度」が導入されることになりました。スタート前には、「全員がスキルアップ、バージョンアップしよう」と呼びかけ、研修の仕組みを全職員に周知する説明会を複数回行いました。

エルダーになるのは入職して3～5年の職員です。実際に新人に接する前には研修を行い「人を育てること」「指導者に求められること」などを学んだ上で、具体的な指導方針を立て「指導者としての自己課題」のレポートを提出して自覚を促します。研修は委員会が年間計画を立て、事前に予定を組むことで、業務中に「仕事」として参加できる体制を整えました。事前研修を経て、2009年の新卒者2人から始めた研修は、13年間で54人を育ててきました。

施設概要

高齢者介護、障がい者支援事業（23事業所のべ42事業）を展開する社会福祉法人心愛会が運営。県内で初めてユニットケアを導入する特別養護老人ホームとして2002年に開所した。定員は80名で、ショートステイとデイサービスが併設されている。

具体的な取り組みの内容

研修日記のやりとりや面談で新人の成長を確認

エルダーは、新卒だけでなく中途採用の職員にもついて、マンツーマンで指導をします。介護業務だけではなく、言葉づかいなど基本的なことを教えたり、プライベートな悩みにも応えながら成長を支援していきます。研修期間中の新人は、研修

人ひとりの個性を把握しながら進められます。例えば、ゆっくり着実に仕事を覚える人もいれば、中途採用で、法人の考え方を理解すれば経験者としてすぐに仕事を任せられる人もいます。

もし、エルダーだけでは解決できない課題があれば、すぐに各部署のリーダーや施設長に内容を共有して解決できるようにしています。また、新人は人事担当者との面談もあるため、ほぼ毎月のペースで面談があり、仕事を続ける上での不安があれば相談することができます。

得られた成果・効果

リーダーを担う人が増え提供するサービスが向上

事業所内で新人教育に取り組むことで、利用者さんに個別ケアが求められるように、職員にも個別の対応が必要だということがわかってきました。エルダーのフォロワー体制づくりなど制度の改善が続けた結果、現在は「職員の個性に合わせた指導・声掛け」が当たり前の組織風土が定着しています。また、多くの職員がエルダーを経験することで、自分の業務を振り返ることができたり、指導の経験値が高くなり、「コミュニケーションが難しい人や障がいをもつ職員など、育成が難しい職員も当たり前に受け入れて多様性を認め合うことができる職場になっていきました。指導方針は、「やってみせる、やらせてみる」「失敗は成功のもと」「新人だけでなく、指導者も共に育つ『共育』」「やってみんなべーの気持ちを大切に」「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」と、おひたし（怒らない・否定しない・助ける・指示する）。2008年に教育制度を取り入れてから、1年以内の退職者が減り、自分から動けるリーダー候補が増えたことから、業務の効率化が進んで、提供できるサービスの向上にもつながっています。「任せられる同僚」がいること

で、職員の有休や産休・育休が取りやすくなるなど、多くの相乗効果が生まれました。現在、このエルダー制度はハーモニーハウスだけではなく法人全体にも取り入れられ成果を出しています。

職員の声

昨年エルダーとして新人教育を任せられました。新人の様子が「なんとなく心配だな」と感じて「大丈夫」と言われるとそれ以上踏み込みにくくなり少し悩みましたが、丁寧に確認しながら関わり続けてきました。新人にできる仕事が増えた時は自分のことのようにうれしくて、私のやりがいにもなっています。

ユニットリーダー兼介護職員 松井三紗さん

今年入職し、エルダーの先輩に基本から介護の仕事を教えてもらっています。短大で保育士の資格を取得したので介護は希望の職種ではなかったのですが、なんでも話せるエルダー制度のおかげで不安な時期を乗り越えて、業務にやりがいを感じるようになってきました。

介護職員 小西菜々花さん

今年から厨房で働いています。同じ職種のエルダーになんでも相談することができるので、入職後は分からないことを一つひとつ解決することができました。他の職員たちもお父さんやお母さんのように見守ってくれて「全員がエルダー」という雰囲気があり、日々成長を支援してもらっています。

栄養士 波多野桃香さん



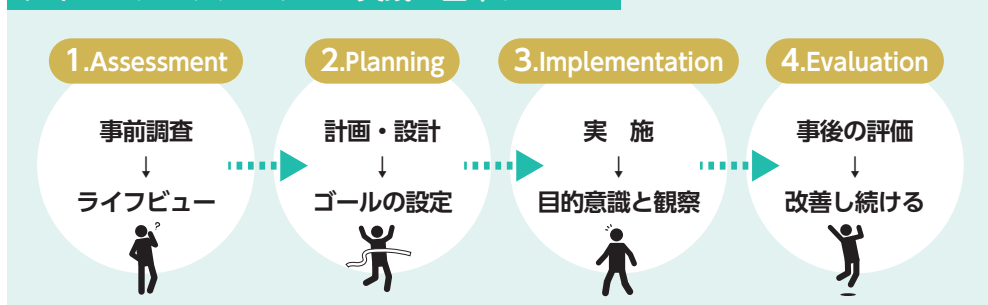
作業療法士
高橋 亜沙美

業務課長・看護師長
猪狩 敦子

介護福祉士
伊東 喜之

施設長
社会福祉士・介護支援専門員
坂井 貴子

ダイバーショナルセラピー実践の基本プロセス



特別養護老人ホーム 南東北グランプラス八山田 (郡山市)

施設概要

郡山市に本部を置き、1都1府4県で100以上の医療・介護・福祉施設を展開する南東北グループが運営する特別養護老人ホーム。長期入所60名、短期入所10名定員でユニットケアの特性を活かし家庭的な暮らしを支えている。

取り組みを行ったきっかけ

海外の取り組みから学ぶ
セミナーに職員が参加

オーストラリアには、「老いることを楽しむ」ための手助けをする専門職があり、それが「ダイバーショナルセラピー」と呼ばれています。

数年前、その話題が南東北グループの介護部会で取り上げられたことがあり、「とても効果があるらしいので、ぜひ一度職員が学んで、みんなで情報を共有してみたらどうだろうか」という呼びかけがありました。

そこで、2021年に南東北グランプラス八山田の介護福祉士と他の事業所から1名が「ダイバーショナルセラピーワーカー養成講座」を受講することになり、リモートで8日間35時間学びました。カタカナ言葉に戸惑っていた受講者も、最後まで学んで理解すると「我々が続けてきた業務と基本的には一緒

だ」とわかった」と話し、すんなり受け止めていました。

介護の仕事では、要介護者に日常生活動作（ADL）のアクセスメントを行います。それに加えてダイバーショナルセラピーでは、人間性についてのアクセスメントを深く掘り下げて行います。

具体的には、生まれ故郷、主な仕事歴や家業、得意なこと、興味があること、人間関係などを丁寧にヒアリングしてアクセスメントシートに落とし込みスタッフで共有します。「セラピー」は、特定の療法を指すのではなく、一人の人間が、よりよく意味のある生活を送るために必要なもの（こと）を、意図的に計画し、提供するための多様な実践のことです。

存在感や自信をなくした状態から、楽しさや幸福感の方向へ生活を転換するために、その人らしさは何かを丁寧に把握して具体的に組みめる方法を、スタッフと一緒に探っていきます。

具体的な取り組みの内容

短時間の伝達研修を全職員に対して直接実施

ダイバーショナルセラピー養成講座を受けた職員は、約50人の職員一人ひとりに対して、直接伝達研修を実施しました。

研修は、1回につき10分〜15分程度の短時間に設定。シフトに合わせて、複数回研修会を開催し、1ヶ月ほどで全職員に行き渡りました。時間がかかって、一人ひとりに伝えることで、確実にダイバーショナルセラピーの考え方が伝わることをねらったものです。

その後も、内容を変えて数回伝達講習を行いながら、アセスメントシートへの記入、職員間での共有をしながらユニットごとに実践を始めました。

あるユニットでは、秋の「芸術祭」に展示するための作品制作を4月に始めました。利用者様にアンケートを実施したところ、「次世代のために何か残したい」という声があがりました。そこで職員は、ペットボトルのフィルムを貼り付けた「花咲かじいさん」のステンドグラス制作を提案。それぞれの心身の状況に合わせた「できる作業」を設定することで、参加者を増やし時間をかけ見事な作品

が完成しました。この作品は、芸術祭が終了した後は、大型絵本にして子どもの施設に寄贈することになっており、参加者は「子どもたちのために」と楽しそうに創作をしていました。その様子を見ていた別ユニットからも「なにか作りたい」と声が上がリ、ペットボトルキャップを使った巨大アート制作が始まりました。

利用者様の意欲、活力が伝播していく様子から職員も今まで以上に「利用者様のために何かできることがあるのではないかな」と考えるようになりました。

得られた成果・効果

利用者様が意欲的になり職場にゆとりが生まれた

ある男性の利用者様は施設の環境に馴染めず、職員はその対応に試行錯誤していました。そこで、ダイバーショナルセラピーの導入後、大工をしていた手先の器用さを活かせる作品制作の場面を増やしたところ、急速に落ち着きを取り戻しました。

さらに拘縮がある人が使う「握り棒」の作成にも関わるようになり、毎日「今日は何か仕事がないかい？」と意欲を見せるようになっていきます。また、普段は寡黙な男性に、イベントの

準備段階から関わってもらって司会を任せたとところ大役を見事に担ってくれたこともありです。他にも大正琴を嗜んでいた利用者様が共有スペースで演奏し、他の人たちと歌を楽しむようになるなど、これまでの人生との連続性がある「その人らしい」過ごし方がユニットに広がっています。介護拒否のあった利用者様に対しては、ユニット内でカレンダーをめくったり、エプロンを配ってもらうなどの役割を担ってもらうようにしたところ、コミュニケーションが穏やかになった事例もありました。

年齢を重ねていくことが増えて「喪失感」を感じている利用者様に、役割や責任をもってもらうことの大切さがダイバー

ショナルセラピー導入で改めて「喪失感」を感じている利用者様に、役割や責任をもってもらうことの大切さがダイバー



ショナルセラピー導入で改めて明らかになってきました。一人ひとりの利用者様が意欲的に過ごすようになり、笑顔が増えてくると介護職員の業務の負担感軽減にもつながり、業務にゆとりが生まれてきました。「利用者様に寄り添う介護職になりたい」と思っていた初心を思い出し「仕事にやりがいを感じるようになった」という声が職員から聞かれるようになっていきます。日々の忙しさの中で忘れてしまいがちだった介護の仕事の魅力が改めて感じる職員が増え職場の雰囲気が変わりました。利用者様と職員どちらもイキイキできるダイバーショナルセラピーを、今後は南東北グループの他施設にも広めていく予定です。

職員の声

今年4月に入職しました。学生時代にこの施設で実習をしていた時「ダイバーショナルセラピー」を取り入れて利用者様がイキイキと過ごしていることに魅力を感じて就職を決めました。今は、レクや体操の時にも、一人ひとりの背景を意識するように関わっています。人生を深く知ることは、とても勉強になります。

介護職員 大沼美鈴さん

利用者様がどんな人生を歩んできたか、どんな趣味・嗜好を持ち、性格や人間性に至るまでしっかりと職員が把握することで、「やる気」を引き出すことができると「ダイバーショナルセラピー」を通して実感しました。これからも「その人らしさ」を大切にできる関わりを続けていきたいと思っています。

作業療法士 高橋亜沙美さん

「ダイバーショナルセラピー」で制作した作品を見て、「すごいですね、きれいですね」と声をかけると、みなさんの表情が明るくなります。そういった日常的なコミュニケーションが健康回復にもつながるんだらうなと感じています。また、利用者様がうれしそうだと、職員もうれしくなり職場の雰囲気が良くなる気がしています。

業務課長・看護師長 猪狩敦子さん



第4回 キラリふくしま介護賞 授賞式

日時：令和5年11月10日(金) 開式 13時00分

会場：ウェディングエルティ (1F スクエア)

令和5年11月10日に、第4回キラリふくしま介護賞授賞式を行いました。
会場とオンラインのハイブリッド型で行い、会場には27名、オンラインで4名の受賞者が参加されました。

内堀県知事の代理として佐藤副知事により、日頃の業務への感謝とねぎらいの言葉とともに、表彰状と記念品が授与されました。受賞者代表の挨拶では、介護職員表彰受賞者の若林孝善 様から「仲間と協力をしながら介護業界を盛り上げていきたい」、介護施設表彰受賞者の特別養護老人ホームハーモニーハウス 竹村祥功 様から「今いる職員が長く働ける職場環境、働きやすい職場環境をつくるのがこれからも私の仕事」と力強いお言葉をいただきました。

受賞された介護職員の皆様、施設・事業所の皆様、おめでとうございます！



福島県知事挨拶（佐藤宏隆副知事代読）



介護職員表彰受賞者30名、介護施設表彰受賞施設3施設





介護職員表彰



介護施設表彰





受賞者代表挨拶



介護職員表彰 受賞者代表
若林 孝善 様によるご挨拶



介護施設表彰 受賞施設代表
特別養護老人ホーム ハーモニーハウス
竹村 祥功 様によるご挨拶



授賞式の様子をオンラインで配信
(オンライン配信のイメージ)



授賞式終了後、佐藤副知事をまじえ受賞者と記念撮影を実施



第4回 キラリふくしま介護賞 受賞者紹介

発 行 令和6年3月

発行者 福島県保健福祉部社会福祉課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

TEL 024-521-7322 FAX 024-521-7917

制 作 株式会社 山川印刷所